

東区 区域まちづくり事業 効果検証シート

事業名称		実施主体			
地域スポーツ活動推進事業		東区ふれあい事業実行委員会			
事業目的	事業効果	活動指標	H28	H29	H30
①市民生活の中で、スポーツに触れる最初の第一歩である地域スポーツ活動を振興。 ②スポーツを通じての市民参加のまちづくり(機会づくり・人づくり・組織づくり)を協働して推進。	地域スポーツ活動への参加意欲の向上とともに健康づくり、生きがいがづくりに寄与する。 また、若年層の競技スポーツ活動、中年層・老年層の生涯スポーツ活動への第一歩の場としての効果が期待される。	実施校区数	7校区	7校区	7校区
①妥当性		②協働の視点		③インパクト	
○	地域スポーツ活動の場を設けることで、区民の健康づくりにつながる。 また、スポーツを通して区民が交流することにより、親睦が深まることも期待できる。	◎	地域のニーズに合わせたスポーツイベントを行政ではなく、校区ごとの区民に企画・運営してもらっている。	○	各校区でそれぞれ地域性に沿った、スポーツイベントを実施しているため、区の特長がいかされるインパクトのある事業であるといえる。
④効率性		○	校区規模のスポーツイベントの企画・運営を、区民に行ってもらっているため、効率性の高い事業であるといえる。		
⑤自立発展性		総合評価			
△	地域スポーツ活動への参加意欲の向上を図るうえで、地域が主体となって実施していくことが望ましいが、費用面においては行政が支援していく必要がある。	○	幼児から高齢者まで幅広い世代が参加する地域の運動会や、複数校区による合同スポーツ大会が本事業を活用して実施されていることから、区民の健康づくり、生きがいがづくり、また区民間の交流に寄与しているといえる。		
今後の方向性(課題、改善提案等)					
拡充 継続 見直し 廃止	本事業を活用し、毎年継続してスポーツ活動を実施している校区があることから、地域に浸透していると認められ、スポーツ活動への第一歩の場として一定の効果があるといえる。一方で、事業の利用校区数が横ばいであり、全校区の利用がなされていないことから実施校区数を増やしていくために広報活動の実施や地域への事業説明等活用を促す必要がある。				